

## 6.4 なくせ！盗聴法 ライブ&amp;トーク歌舞伎町

# 動員220人！文字通りの超満員

## 「廃止しかない」思いを再確認



左 / 左から辛淑玉さん、宮崎学さん、宮台真司さん、寺沢有さん  
上 / フォーク、ブルース、沖縄民謡と賑やかに  
行われたライブ

集まりも集まった220人！。6月4日、新宿 歌舞伎町のライブハウスで行われた「なくせ！盗聴法 ライブ&トーク歌舞伎町」は、大成功に終わりました。

\* \* \*

当日は、開場のだいぶ前から入口に行列ができるほど。文字通りの超満員で、ほとんどの来場者が立ち見という状況でした。

もともと「選挙に向けて幅広い層にアピールしよう」という目的で始まったこのイベント。そのため、沖縄音楽からロックまで多くの人々が楽しめる音楽と内容の濃いトークで、ポイントを押さえながらも肩の凝らない集会にしようと企画されました。そんな趣向のせいか、普段はあまり集会などでは見られない若者が多く集まり、その意味ではこれまで馴染みのなかった人々にアピールできたことが成果の一つとしてあげられるでしょう。それとともに、盗聴法に対する幅広い層の関心を改めて感じさせられました。

メイントークの出演者である宮崎学さん、宮台真司さん、辛淑玉さん、そしてコーディネーターの寺沢有さん目的に来場した人が多かったようで、その時間には入りきれないほどの人が集まりました。そし

て、その期待を裏切らない充実したディスカッションが交わされました。

宮崎さんは「盗聴法の反対運動も総選挙に積極的に関わっていくべき。候補者に対してこの法律に対する態度を明らかにさせることが、のちのち効果がある」と発言。続いて辛さんが「正しい人が正しいことだけをやっていてはダメ。勝つためにどうしたらよいかを考えるべきだし、この闘いは必ず勝たねばならない」と力強く訴えました。

また、宮台さんは、警察犯罪が

明るみに出たことについて内部告発の果たした役割の大きさについて触れ、「至る所で内部告発のすすめを訴えている」と話していました。それを受けて寺沢さんが「盗聴法は、社会の健全化に欠かせないそういった内部告発を潰す。だからたちが悪い」と改めて悪法性を指摘しました。

そのほか、斉藤貴男さん、小倉利丸さん、松崎菊也さんが、それぞれの視点から問題点を指摘、今後の運動の方向性を提起しました。

(日本消費者連盟 吉村英二)

盗聴法廃止運動のシンボルマークをデザインしたTシャツです。白地にシンボルマークを配したデザインで、横に「盗聴法廃止」の文字が入っています。

価格： 枚1000円  
サイズ： M、L  
マークの色： 赤、青、緑、黒  
送料： 枚270円  
2~3枚390円  
4枚以上一律500円

申込み  
盗聴法に反対する市民連絡会  
(ピースネットニュース)  
FAX **03-5684 5870**  
必ずサイズ 枚数 お送り先を記入の上、ファクスでお申し込み下さい。

